



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年8月4日

上場会社名 わかもと製薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4512 URL https://www.wakamoto-pharm.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 範久  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 福原 和彦 TEL 03-3279-0371  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,130	△22.2	△213	—	△179	—	33	—
2020年3月期第1四半期	2,738	1.5	△251	—	△232	—	△289	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.97	—
2020年3月期第1四半期	△8.35	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	15,930	12,040	75.6	346.92
2020年3月期	15,983	11,947	74.8	344.22

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 12,040百万円 2020年3月期 11,947百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 次期の配当は未定であります。

直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	△7.5	10	—	40	—	240	—	6.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	34,838,325株	2020年3月期	34,838,325株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	130,591株	2020年3月期	130,591株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	34,707,734株	2020年3月期1Q	34,707,959株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の停滞や、インバウンド需要の消失・個人消費の低迷等により、先行きについて極めて不透明な状況にあります。

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策や長期収載医薬品の薬価引下げなどの薬剤費抑制政策が継続的に推し進められ、引き続き厳しい事業環境にあります。

ヘルスケア事業を取り巻く環境は、消費税増税による個人消費の落ち込みに加え新型コロナウイルスの影響によりインバウンド需要が急激に悪化いたしました。

そのなかにあつて当社の医薬事業では、主力製品である眼科手術補助剤・眼科用副腎皮質ホルモン剤「マキユエイド眼注用40mg」、アレルギー性結膜炎治療剤「ゼペリン点眼液0.1%」、水溶性非ステロイド性抗炎症点眼剤「ジクロード点眼液0.1%」、緑内障・高眼圧症治療剤「リズモンTG点眼液」及び主力製品として育成すべき重要な製品の緑内障・高眼圧症治療剤(特許を持った後発品)「カルテオロール塩酸塩L点眼液」、「ラタノプロスト点眼液0.005%NP」に加えて、乳酸菌製剤「レベニン錠」シリーズ、業務提携先との共同販促品であるA型ボツリヌス毒素製剤「ボトックス注用」、緑内障・高眼圧症治療剤「ドルモロール配合点眼液」、「ピマトプロスト点眼液0.03%」、サプリメント「オブティエイド」シリーズ、さらには医薬品原料等の販売促進並びに受託製造販売を行ってまいりました。

ヘルスケア事業では、主力製品である「強力わかもと」に加え、エビデンスに基づき口臭予防を訴求した薬用歯磨き(医薬部外品)「アバンビーズ」シリーズ2製品及び通販事業を主体に「アバンビーズ オーラルタブレット」(乳酸菌含有加工食品)の販売促進を行ってまいりました。

国際事業では、海外向け「わかもと」及び医薬品、原料薬品の製造販売並びにライセンスイン・アウトの活動を行ってまいりました。

その結果、当第1四半期累計期間の売上高は21億3千万円(前年同期比22.2%減)、営業損失2億1千3百万円(前年同期は営業損失2億5千1百万円)、経常損失1億7千9百万円(前年同期は経常損失2億3千2百万円)、四半期純利益3千3百万円(前年同期は四半期純損失2億8千9百万円)となりました。

セグメント別の売上高の状況につきましては、医薬事業では「ドルモロール配合点眼液」、「ピマトプロスト点眼液0.03%」の売上が増加いたしました。コロナウイルス感染拡大に伴う患者さんの医療機関への受診抑制等により「マキユエイド眼注用40mg」及び長期収載医薬品である「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンTG点眼液」の売上が減少いたしました。その結果、売上高は14億1千1百万円(前年同期比12.5%減)となりました。

ヘルスケア事業では、通販事業における「アバンビーズ オーラルタブレット」の売上が増加いたしました。訪日外国人の大幅な減少により主力製品の「強力わかもと」が大幅に減少いたしました。その結果、売上高は4億9千万円(前年同期比47.1%減)となりました。

国際事業では、輸出用の「ゼペリン」が減少いたしました。海外向け「わかもと」及び輸出用原料薬品が増加いたしました。その結果、売上高は1億9千5百万円(前年同期比27.8%増)となりました。

不動産賃貸業の主たる収入はコレド室町関連の賃貸料であります。コレド室町は政府や東京都からの休業要請を受け、当第1四半期累計期間において、4月8日から5月28日まで休館しておりました。その結果、売上高は3千3百万円(前年同期比26.4%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、159億3千万円となり前事業年度末比5千3百万円(0.3%減)の減少となりました。流動資産は85億円となり1億4千7百万円(1.7%減)の減少、固定資産は74億2千9百万円となり9千4百万円(1.3%増)の増加となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、売掛金が減少したことが主たる要因であります。固定資産が増加いたしましたのは、機械及び装置、投資有価証券が増加したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、38億8千9百万円となり前事業年度末比1億4千7百万円(3.6%減)の減少となりました。流動負債は22億7千9百万円となり1億5千5百万円(6.4%減)の減少、固定負債は16億1千万円となり8百万円(0.5%増)の増加となりました。

流動負債が減少いたしましたのは、未払費用が増加した一方、支払手形及び買掛金、賞与引当金が減少したことが主たる要因であります。一方、固定負債が増加いたしましたのは、退職給付引当金が減少した一方、繰延税金負債が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、120億4千万円となり前事業年度末比9千3百万円(0.8%増)の増加となりました。繰越利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したことが主たる要因であります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の74.8%から75.6%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、通期の業績予想につきましては2020年5月27日で公表いたしました業績予想及び配当予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,883,666	3,196,648
受取手形及び売掛金	3,078,450	2,555,980
商品及び製品	1,410,642	1,561,349
仕掛品	504,744	473,521
原材料及び貯蔵品	548,492	474,819
未収還付法人税等	6,966	54,921
その他	215,136	183,463
流動資産合計	8,648,099	8,500,704
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	7,841,082	7,843,636
減価償却累計額	△4,906,097	△4,957,188
建物(純額)	2,934,984	2,886,448
構築物	268,504	268,504
減価償却累計額	△228,707	△230,627
構築物(純額)	39,796	37,877
機械及び装置	8,057,099	8,204,589
減価償却累計額	△7,652,178	△7,686,870
機械及び装置(純額)	404,921	517,719
車両運搬具	50,273	50,273
減価償却累計額	△40,968	△42,454
車両運搬具(純額)	9,304	7,818
工具、器具及び備品	982,997	983,598
減価償却累計額	△881,880	△890,961
工具、器具及び備品(純額)	101,116	92,637
土地	82,947	82,947
建設仮勘定	75,400	31,000
有形固定資産合計	3,648,472	3,656,448
<b>無形固定資産</b>		
特許実施権	300,000	300,000
特許権	109	79
ソフトウェア	177,595	185,827
ソフトウェア仮勘定	3,750	7,298
その他	3,680	3,680
無形固定資産合計	485,134	496,884
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,411,421	2,492,589
保険積立金	468,720	470,303
その他	363,308	354,467
貸倒引当金	△41,736	△41,326
投資その他の資産合計	3,201,714	3,276,034
固定資産合計	7,335,321	7,429,367
資産合計	15,983,421	15,930,072

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,355,782	1,157,512
短期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	34,944	17,152
未払消費税等	-	25,281
賞与引当金	170,000	69,222
返品調整引当金	3,000	4,000
その他	770,881	906,098
流動負債合計	2,434,608	2,279,267
固定負債		
退職給付引当金	1,079,452	1,061,778
長期預り金	170,225	170,225
繰延税金負債	348,336	374,576
その他	3,709	3,444
固定負債合計	1,601,724	1,610,025
負債合計	4,036,333	3,889,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,828	2,675,828
利益剰余金	4,939,571	4,973,236
自己株式	△36,125	△36,125
株主資本合計	10,975,161	11,008,826
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	971,925	1,031,953
評価・換算差額等合計	971,925	1,031,953
純資産合計	11,947,087	12,040,779
負債純資産合計	15,983,421	15,930,072

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,738,002	2,130,588
売上原価	1,102,327	1,045,172
売上総利益	1,635,675	1,085,415
販売費及び一般管理費	1,887,202	1,298,670
営業損失(△)	△251,527	△213,254
営業外収益		
受取配当金	22,569	23,463
為替差益	708	-
その他	3,781	12,522
営業外収益合計	27,059	35,986
営業外費用		
支払利息	182	143
固定資産除却損	209	0
寄付金	7,670	1,518
為替差損	-	187
その他	16	73
営業外費用合計	8,078	1,923
経常損失(△)	△232,546	△179,190
特別利益		
投資有価証券売却益	-	217,246
特別利益合計	-	217,246
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△232,546	38,055
法人税、住民税及び事業税	4,390	4,390
法人税等調整額	52,833	-
法人税等合計	57,224	4,390
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△289,770	33,664



（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自2019年4月1日 至2019年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注) 1
	医薬事業	ヘルスケア 事業	国際事業	不動産賃貸 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,613,275	926,122	153,065	45,540	2,738,002	—	2,738,002	—	2,738,002
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,613,275	926,122	153,065	45,540	2,738,002	—	2,738,002	—	2,738,002
セグメント利益又は 損失（△）	△355,575	64,269	22,143	17,635	△251,527	—	△251,527	—	△251,527

（注） 1. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期累計期間（自2020年4月1日 至2020年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期 損益計算 書計上額 (注) 1
	医薬事業	ヘルスケア 事業	国際事業	不動産賃貸 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,411,308	490,095	195,671	33,513	2,130,588	—	2,130,588	—	2,130,588
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,411,308	490,095	195,671	33,513	2,130,588	—	2,130,588	—	2,130,588
セグメント利益又は 損失（△）	△91,704	△129,913	2,916	5,448	△213,254	—	△213,254	—	△213,254

（注） 1. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。